
星空を見せたい

さつつん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星空を見せたい

【Nコード】

N4426Y

【作者名】

さつつん

【あらすじ】

主人公三郷研二は自分で立ち上げた掲示板「ネットワールド」に書き込みをしてくれる人を待っていた。

そしてついに書き込みしてくれたが…

限定事項

午前一時三十二分。

いつも通りパソコンの電源を入れる。

真っ暗だった部屋に小さく明かりが灯る。

ネットワークに繋ぎ、いつもの掲示板へ。

そう、僕が立ち上げた掲示板「ネットワーク」。

どうにも中二臭い名前は中二頃に立ち上げたからである。

それから二年。

まったく書き込みが無いまま高校生となってしまうた。

書き込みが無いと分かっているても、もしかしたら書き込みがあるんじゃないかと期待してパソコンを開いてしまう。

何故午前一時三十二分なのか。

それは僕が立ち上げた掲示板は一時三十二分から四時までしか開いていないから。

そんな感じで限定した方が僕はカッコイイと思ったからだ。

そして当時中二だった僕はもっと限定事項を追加してしまった。

それは、とある質問。

【喜怒哀楽を示す暗号を4つ書き込め】

これが解けた人にだけ掲示板に書き込める。

と言っても、僕自身も答えはわからない。

おふざけで書いた限定事項のおかげでずっと書き込みが無い。

もちろん、限定事項を解除しようと思った。

しかし何故だか解除できないようになっていた。

ついには僕の掲示板の質問を解く掲示板が出てしまった。

そっちの掲示板の方がおおにぎわいだ。

そこで得たエセ情報を元に質問を解こうと質問に挑むが、僕の悪い癖。

なっとくがいかないとハズレと送ってしまう。

負けず嫌いなのだ。

これに負けず嫌いも何も無いが、やっぱりなっとくいかないとハズレと送る。

そして後で後悔する。

もう、封鎖しようか。

まだ希望を持って待つか。

ピロン

また挑みに来た。

「Hello管理人様（＾Ｏ＾）

私はえーると申します。 さっそくですが、質問に お答えしま

す（、、）」

【えーる】と言う名の挑戦者。

質問の回答欄を見る。

今思えば、この時なっとくしないで、負けず嫌いのままでいれば良かった。

哲学的な答え

【えーる】の出した答えは、

「喜怒哀楽ですよね？」

私的、これって相対性理論の事だと思っんです！」
なんのこっちゃ。

まず、相対性理論はアインシュタインがどうたらこうたらと説明されたが、僕には理解不能だった。

段々、悪戯なのではないかと思ってきた。

しかし、【えーる】の言っていることが少し理解できる気もした。理論の話は別として。

つい、承認してしまった。

ついに、話し相手ができた。

嬉しい半分、悔しさが何故があった。

承認して数秒、すぐに【えーる】の書き込みが来た。

「承認ありがとうございます（´・`）」

私的な相対性理論の気持ち ちを分かってくれており ありがとうございます！」

さっそく返事を書き込んだ。

「どういたしまして。

しかし、僕には相対性理論は難しいです。

すいません（＾―＾；）」

するとまたすぐに書き込みが入った。

「そうですか…」

やっと語れる相手が見つかったと思うたのですが、残念です（；；；）

でもこの難問を解けたので良しとします（＾Ｏ＾）」

かつてにガッカリされて少しイラッと来たが、最初の一人。仲良くしようと思う。

まずは無難な質問を試してみた。

「えーるさんは好きななに かつてあるんですか？」
すると

「そうですね（＾　＾）
特に好きなのは無いです ね（、　、　ゞ」

と返ってきた。

このままだと会話が続かないと悟った。

何か、手立ては無いか、そう考えていると【えーる】から質問してきた。

「管理人様はいくつ何ですか？」

私は中学三年生です（＾Ｏ＾）」

と言う事で返事を書き込んだ。

「僕は、高校一年生です。 一歳年上ですね（＾Ｏ＾）」

優しいお兄さん気取って返事したが、予想もしない返事が返ってきた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4426y/>

星空を見せたい

2011年11月17日17時40分発行